

“自分軸”の見つけ方

“自分軸”が求められる背景

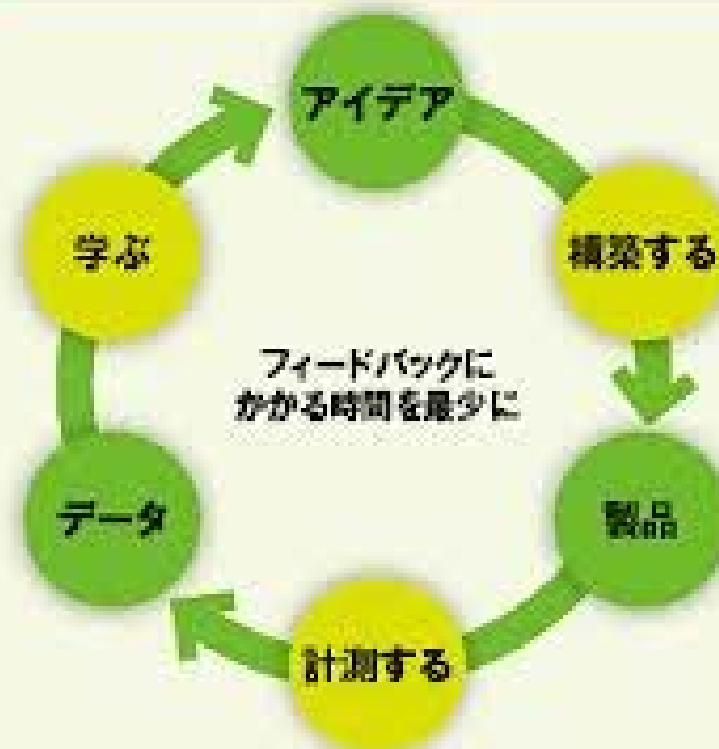
- ・大きく作る⇒小さく(安く)作る
- ・完成度の高い事業計画を作り遂行する
⇒仮説を立て検証を繰り返す【リーン・スタートアップ】
- ・プロダクト・アウト⇒マーケット・イン
- ・組織⇒個
(フリー保育士、フリー保健師、フリー編集者、...)
- ・ライフワークとライスワーク
- ・マスメディア⇒セルフメディア
- ・ワークシフト:産業構造の変化に注目
- ・モノ⇒価値や経験

小さく作る 仮説検証を繰り返かえす【リーンスタートアップ】



▶ リーンスタートアップの概念

初期投資を低く抑え、最低限の機能を持った製品を作る。それを少数の顧客で試して反応を見る。継続かピボットかを決める。ピボットには種数のタイプがある



プロダクト・アウトとマーケット・イン

プロダクト・アウト

- 作り手が良いと思ったものを提供する

マーケット・イン

- 消費者が欲するものを提供する

※しかし、顕在化していないニーズに対応するには、作り手が提案し、検証をしていく必要がある。

組織⇒個 雇われないで働く



栄養士

栄養士の資格を活かして離乳食の教室や、子ども連れで行けるカフェを運営。

フリー保育士

フリー保育士として、保育所だけではない、子育ての場を創出している。



マスメディアからセルフメディアへ

ペイドメディア【関心】

- 広告など

オウンドメディア【理解】

- 事業者が所有、コントロールできるメディア
- HPなど

アードメディア【共感】

- ユーザーやマスコミが評判を形成するメディア
- SNSなど

⇒トリプルメディアの活用が必要

ライフワークとライスワーク

ライスワーク

- 飯を食べるための仕事

ライフワーク

- 夢や好きを追い求める仕事

⇒ **OR**ではなく、**AND**で行こう！！

ワークシフト～産業構造の変化

今後縮小していく職業

- 会計事務員
- 弁護士
- 翻訳業、印刷業

今後必要とされていく職業

- SE／プログラマー
- 介護従事者／保育士
- 社会起業家

★まだ存在していない仕事

今、必要とされている力

- 自分が提供できる価値や経験を明らかにする力
- 発想を転換する力
- 自分の強みを見せる力、発信する力
- 人とつながる力
- 専門家ではなく、デザイナー／コーディネーター

“自分軸”の見つけ方

- 自分の要素を素因数分解する
- 組み合わせて、オンリーワンとなれることを探す
- 自分の専門性をもって、多分野に踏み込むこと
- これから始める仕事は、これまでに存在しない新しい仕事であると認識する

“自分軸”で成功するには...

- 成功するには、「目標＝成功の指標」を持つことがスタート
- 短期目標を設定し、少しずつクリアしていく⇒成功体験を繰り返し、成功体質に。
- ドリームキラーを無視し、本当の応援団、味方、同士の、できるだけ異なるコミュニティを持つ